

苫小牧港  
**Port of TOMAKOMAI**  
HOKKAIDO, JAPAN

可能性は、無限大。



# 未来をつくる港が、ここにあります。

日本の食糧基地であり、多くの資源を有する北海道。苫小牧港は、北海道の貨物の約半分を取り扱う北日本最大の港です。北海道の資源が注目を集める今、苫小牧港は物流の拠点として、可能性の地北海道を牽引する港としてますます存在感を増しています。



HOKI

## 無限に広がる 苫小牧港のポテンシャル

21世紀は、環境の世紀。持続型社会、循環型社会、生物多様性のあり方に注目が集まっている今、自然を未だ多く残し、環境との調和が図られているのが北海道です。豊かな自然環境の他、豊富な水や食糧などの資源で、今世界で最も注目を集める地域の一つと言ってよいでしょう。

北海道の資源を世界へ、日本各地へ運ぶための手段として船があり、物流の拠点となる港があります。苫小牧港の役割は、北海道と世界・日本をさらに緊密に結ぶことであり、これにより果たすべき役割は今後さらに増え続けていくでしょう。

SAPPORO •

Port of T

苫小牧港×モノ×ヒト=

苫小牧港に集まるモノとヒト。半分の海上貨物が苫小牧港を出入ります。モノが動き、ヒトが動き、経済が生まれます。苫小牧港が存在し、モノが動くことで、さらなる経済の循環が生まれ発展していきます。

る

KAIDO

OMAKOMAI

活気

北海道の約  
入りしていま  
済に活気が生  
モノとヒトが  
ラススパイラ

そこにある、そのことが魅力

苫小牧港最大のメリットは「そこにある」こと。可能性の地・北海道に存在し、太平洋に面し、日本海に至近。陸上では港を基点に交通網が発達し、札幌をはじめ、北海道各都市にもコンタクトしやすい苫小牧港は、そこにあること自体が大きなメリットなのです。

世界から、北海道から、  
「いらっしゃい」と「いらっしゃい」

北海道と世界を海で結ぶ苫小牧港。アジアへは日本海を渡って。北米には太平洋を渡って。苫小牧港は世界とつながるゲートウェイです。北海道のモノを世界へ、世界のモノを北海道へ直接つなぎます。



# 時間と距離の効率・効果的な

苫小牧港は、国際都市札幌を中心とする道央圏はもとより、旭川、帯広など道内主要都市を短時間で結び、北海道の物流拠点として重要な役割を果たしています。

## 札幌まで1時間もかかるない

札幌までのトラック・鉄道による移動は1時間圏内です。苫小牧港が多く利用される理由の1つです。



## 新千歳空港まで車で30分、空港が目と鼻の先にある

苫小牧港から新千歳空港まで車で約30分。人や物の乗り換え、積み替えもスムーズに行うことができます。



## 苫小牧から伸びる国道、札幌・函館・旭川・帯広・釧路にもつながってる

放射状に伸びる多様な交通網で、道内各都市間でスムーズな大量輸送が可能です。



## HOKKAIDO



## Port of TOMAKOMAI

# ネットワーク



高速自動車国道	
供用区間	■
計画区間	----
一般国道自動車専用道路	
供用区間	■
計画区間	-----
地域高規格道路	
供用区間	■
計画路線	----

## 国道・高速道路に鉄道、あたり前が揃ってる

苫小牧に集中した道路網と鉄道網で各地間の配送もスムーズです。道内外からの貨物輸送のリードタイムも最小限となります。

## カバーエリアは北海道全土

整備された交通ネットワークが、苫小牧港を基点として、広大な北海道を季節を問わず安全にカバーしています。



## モーダルシフトで企業活動にエコ

JR貨物駅が至近のため、鉄道輸送へのシフトがスムーズ。苫小牧港の利用は、すなわちエコ活動です。



# 企業を、地域を、日本を支える

苫小牧港は、国際海上輸送網の拠点となる国際拠点港湾です。国内では中長距離内航フェリー、定期RORO船で日本有数の運航便の就航があります。苫小牧港は、日本の物流を支えています。

## フェリー

苫小牧港に出入りしている貨物の約半分がフェリーを使って運ばれています。生活に関わるあらゆるモノの運搬にフェリーが使われており、旅客輸送を含め、重要な役割を果たしています。



## 北海道内外の充実したネットワーク

関東と北海道間における鉄道輸送と海上・トラック輸送では、後者が時間コストで有利。輸送貨物量を比較しても、苫小牧港利用の海上輸送が効率的といえます。また、苫小牧港は道内他港が万が一の災害でも代替港として活躍することもできます。

## RORO船

RORO船定期航路は日本を代表する生産・物流・消費拠点と結ばれており、多頻度かつ高速輸送が特徴です。



## 苫小牧港の物流に関するメリット

苫小牧港の定期航路を活用することで、輸送の時間や距離を短縮することができます。例えば、本州と道央圏を結ぶ貨物輸送は、北海道では苫小牧港の利用が最短ルートとなります。

# コンテナ貨物が、活きる

貨物輸送手段の世界的主流となっている海上コンテナ。世界各国から苫小牧港にコンテナ貨物が集結します。苫小牧港では、オーバーパナマックス（16列）対応1基と、パナマックス（13列）対応2基の合計3基のガントリークレーンが設置されており、ビジネスと生活を強力にバックアップしています。

## コンテナにつまつて北海道の7割の暮らし

苫小牧港では北海道全体の外貿コンテナ取扱個数の約7割を取り扱っています。コンテナ貨物は、生活物資や工業品、冷凍魚などの水産品など、年に約20万TEUのコンテナが出入りしています。

※TEU=20フィートコンテナ換算の個数





## 国際コンテナ貨物にとって良い港

道内で唯一、北米コンテナ航路が就航している苫小牧国際コンテナターミナルは、充実した施設と耐震強化岸壁の整備等により、待船やヤードの狭隘化などの問題が解消され、スムーズなターミナル運営が可能となりました。



Port of TOMAKOMAI

# 西にアジア、東に北米 モノと

## 時代の潮流はアジア

中国を筆頭に、韓国、台湾、東南アジアの経済は躍進し、今後さらなる発展を遂げていくことでしょう。苫小牧港は、これらの国々や地域との直通の数多くの定期コンテナ航路、釜山港トランシップや京浜港との国際フィーダーを活用することでさらに細かいネットワークで結ばれており、ヨーロッパ航路とも接続しています。世界との物流には、苫小牧港の利用が便利です。



## ・太平洋の彼方から直接届く、 北米貨物コンテナ

木材やチップなど、多くの資源が北米から運ばれるとともに、多くのコンテナ貨物も苫小牧港で取り扱われています。アメリカ本土に直接コンタクトできる苫小牧港は、確実に企業の北米進出の大きな助けとなります。北米航路では、農工業生産資材が輸入され、また北海道からは各種工業製品が出荷され、北海道の産業構造を支えています。

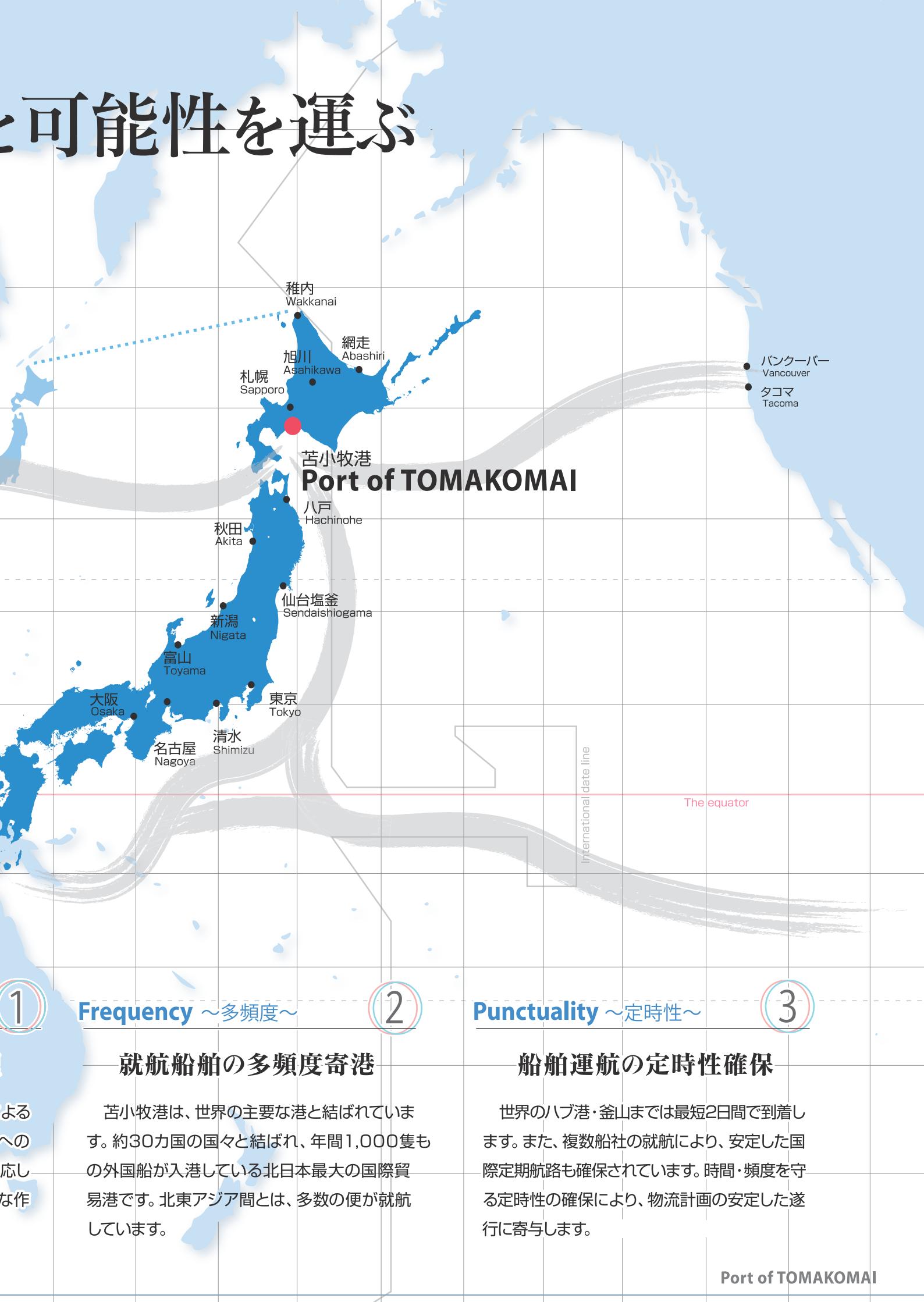


## Traceability ~追跡性~

### ヤード内貨物の追跡管理

貨物管理はコンピュータ管理システムによるヤードオペレーションとヤードプランニングによる迅速な指示により、様々な状況へ柔軟に対応します。最新のシステムを駆使し、スムーズな業務でユーザーの要望に応えます。

# 可能性を運ぶ



# 港が好き… 船も、人も

港は海と陸をつなぐ場所。苫小牧の街には暮らしの近くに、海・船を臨む苫小牧港があります。当たり前のようにあるこの空間が、人々にとって魅力的で親しみのある空間として存在し続けられるよう、苫小牧港は今日も人々とともに歩んでいきます。



潮風が夏を感じさせてくれるから、港が好き。

はじめてみる船は、とても大きかったです。

ちょっと散歩がてら、船を見にきました。

キラキラ公園は、毎日お決まりの散歩コース。ウチの犬は相変わらず散歩大好き、みたいです。

毎週ヨットを楽しんでいます。海最高。

港と海の音。苫小牧港の音。

ボートで釣り中。でもなかなか釣れない…、まあのんびり待つか。

海辺で砂だらけで遊んだ。この子の思い出になってくれるかな。  
港まつりで花火を見に行つた。海にうつる花火もきれいだ。

なんでお祭りって、こんなにワクワクするんだろう。



## factor 01 遊び

毎年8月に開催される  
港まつり、マリンレジャー  
の拠点である勇払マ  
リーナなど、苫小牧港に  
は遊びの空間と時間が  
あります。



## factor 02 ふれあう

市街地の程近くに家族  
連れて楽しめる、波打ち際  
のある「ふるさと海岸」や、  
遊具や遊水路が設置され  
た広々とした緑地の「キラ  
キラ公園」があります。



## factor 03 見る

フェリーターミナル  
から見る船、港から見る  
工場の夜景。船を見て憩  
い、港を見て楽しむ場所  
がたくさんあります。



## 港があるから苫小牧、 という街にしたい

苫小牧港のある苫小牧市は、北海道を代表する  
工業都市・港湾都市として、製紙工場や自動車部品  
製造工場が操業しています。工業都市でありながら、  
樽前山やウトナイ湖などの自然も多く、工業と人の  
暮らし、港、自然が調和した街でもあります。港が出来  
て発展した街・苫小牧は、これからも苫小牧港と  
共に発展し続けます。

## 港は海と陸の結節点

港は、海と陸の結節点としてモノやヒトを運ぶの  
と同時に、人々が海を眺めたり、憩いに来たり、水  
辺空間を味わう特別な場所でもあります。苫小牧港  
は人々にとって身近な憩い空間であり、自然と足を  
運びたくなる、、、そんな場所であり続けます。

# 工業港として発展、西港区

苫小牧港は、西港区と東港区からなり、海岸線は苫小牧市から厚真町にかけて24km、港湾区域の面積は14,340haあります。苫小牧港の内貿貨物取扱量は平成13年から連続全国第1位です。国際拠点港湾として北海道はもとより、国内屈指の流通の拠点として大きな役割を果たしています。

Western Port District  
西港区



「港に運んで、つくり、出す。」  
が基本です

港には多様な工場が集積しています。原油が運ばれ、ガソリンなどの石油製品が出荷されます。また、資材が運ばれ製品等が出荷されます。まさに、物流と製造の拠点です。

効率的な稼動で、  
無駄な時間をかけさせません

苫小牧港を起点とした東西北へ、放射状に伸びる幹線道路網と近接する鉄道と空港により、多様な輸送手段が相互に接続しています。



# 物流港として躍進、東港区

広さ10,700haにもおよぶ広大な開発用地を背後に持つ東港区。国際コンテナターミナルを有し、外貿貨物のみならず、フェリーによる内貿貨物の物流港として活躍しています。

## Eastern Port District 東港区



北日本最大の港は、  
エコポートです

苫小牧港は、臨海部やその周辺に循環資源型産業の集積があり、また、内外定期航路が多数運航し、海上輸送の利便性が良いことなどから高く評価されています。

24時間365日稼動しています

苫小牧港は、船舶の出入りや荷役作業など24時間対応をして、年々増加する貨物の荷役作業や運搬を速やかに行ってています。



北海道と苫小牧市で組織する特別地方公共団体  
**苫 小 牧 港 管 理 組 合**

〒053-0003 苫小牧市入船町3丁目4番21号  
TEL 0144-34-5551(代表) FAX 0144-34-5559(代表)  
<http://www.jptmk.com>